

アール・デコ様式の旧・朝香宮邸で、
ボルタンスキー展を鑑賞。

浅田 今日 今度は東京都庭園美術館で「クリスチャン・ボルタンスキー展」を観た。ここはもとは朝香宮夫妻の邸宅で、対談をしてこの部屋は運転手の控室だったというけど、立派なものだね（メインカットは大食堂で撮影）。

田中 解説資料によれば、1933年に竣工して朝香宮夫妻が暮らし、戦後の47年から54年まで政府が借り受けて吉田茂外相・首相の公邸として使用され、赤坂の迎賓館が再開される74年までは白金迎賓館として使われた。その後、83年に東京都庭園美術館としてオープンした。

浅田 高輪プリンス、赤坂プリンスと同様、西武鉄道がここと隣の自然教育園を合わせて高層ホテルを造ろうとしたけど、反対運動が起きたため、都が買い取って美術館にした。よく残ったもんだよ。

朝香宮は22〜25年にフランスに留学、25年のアール・デコ展を実際に見て、帰国後アール・デコ様式の邸宅を建てた。ルネ・ラリックによる正面玄関のガラス扉をはじめ、金属やガラスの装飾や照明は高度に洗練されている。建築自体は野暮つたいところがあるものの、日本でこれだけのアール・デコ建築は珍しい。

まあ、当時の皇族がいかに贅沢をしたか、その証拠でもあるけど。

田中 開館前年の82年から5年ほど白金台に僕は住んでいたんで、85年に開催されたコルベール展をはじめとして散歩がてら何度か観に来たよ。

ルイ14世の側近として17世紀に重商主義を徹底した財務総監のジャン・バティス



田中康夫

今月の憂いゴト

「ボルタンスキー展」から、
アメリカ大統領選挙、
大阪府警の土人発言まで。

東京・白金台にある「東京都庭園美術館」で開催中の「クリスチャン・ボルタンスキー展」を訪れた田中・浅田両氏。昭和初期に朝香宮邸として建てられたアール・デコ建築を味わい、展示されているボルタンスキーのアート作品を鑑賞しながら、世界のこと、日本のことを論じた。

photographs by Hiroshi Takaoka text by Kenji Tanaka

浅田彰

談 呆 国 憂

season 2 VOLUME 78

ト・コルベールの名前を冠したのが、1954年に香水のグランの3代目が創設したコルベール委員会。国内産産を保護したコルベール主義を蘇らせ、他方でブランド品の輸出を奨励してフランスを復権させる政府戦略の下、オートクチュールや宝飾品等のフランスの老舗75社が会員として名前を連ねている。今にして思えば、ドナルド・トランプが唱える保護主義のフランス版の先駆けとしての展示だった訳だ(苦笑)。

浅田 ボルタンスキーは2010年の瀬戸内国際芸術祭で香川県・土庄町の豊島に「心臓音のアーカイヴ」をつくり、いまま常設施設として公開されている。世界の人々の心拍を録音して、真つ暗な部屋の中で再生し、その音に合わせて裸電球が点滅するという、すごく印象的な作品。僕の心拍も検索すれば出てくるけど、異常に速い。実は、豊島の学校の講堂で作家と対談したとき、暑すぎて熱中症で倒れかけてたから(苦笑)。今年の芸術祭では、豊島の森の中にたくさんさんの風鈴を吊るし、島民ら一人一人にとって大切な人の名前を短冊に記した「ささやきの森」が展示されて、ここでは映像で紹介された。

田中 理不尽にも当時の香川県が黙認し続け、高松からフェリーでわずか35分の場所の惨状を、地元紙も全国紙の地方版も13年間にわたったの1行も報じなかった違法な巨大産廃処分場の撤去に向けて地域住民が、怯まず、屈せずに闘い続けたのが豊島の歴史。浅田さんと一緒に訪れ、『週刊ダイヤモンド』で連載していた「愛国果談」で語り合ったのは2004年。フランスのファブリス・イベルが神宮前のワタリウム美術館を野原や畑に変えちゃった意欲的な展覧会の際にも『ソトコト』の連載(2008

年7月号)で、豊島の話をしたのを思い出すね。

新しいアメリカの大統領が決定。でも、世界は新しくなるの？

浅田 アメリカ大統領選挙でドナルド・ジョン・トランプの当選確実が伝えられたときは思わず「マジか!」って眩いちゃったね。むしろこの対談でも「彼が勝ってもおかしくない」と言ってきたけど、正直に言えばそれは現実を知らないナイーヴなインテリと思われないためのポーズで、既成の政治体制をぶっ壊す欲望が高まったのはわかるものの、アメリカ人がここまで危ないギャンブルに出るとは思わなかった。

田中 民主党支持者が強い「ニューヨーク・タイムズ」だけでなく、共和党支持が濃厚だった「ワシントン・ポスト」や『ウォール・ストリート・ジャーナル』もヒラリーを礼讃しトランプを罵倒した。イギリスの経済紙『フィナンシャル・タイムズ』に至っては「彼の当選は米国の退廃と衰退を暗示している」と評したけど、実は今回の結果は、金融資本主義やグローバルズを牛耳ってきた1パーセントの側こそ退廃した倫理と国民の衰退をもたらし続けてきたじゃないか、という静かな異議申し立てだった気がしてきたよ。



肉体労働で首筋が赤く日焼けした「レックドネック」と呼ばれる低所得な白人層だけでなく、ハイスクール卒や大学卒の4割が満足な仕事も見つからずに疲弊している中間層も、メディアが喧伝した「トランプ・リスク」を恐れる以上に、貧困から抜け出せぬ「固定化される弱者」に自分も組み込まれていく不安と不満を痛感して、「Make America Great Again」を掲げたトランプに毒を以て毒を制する「チェンジ」を求めた。

とまれ、アメリカ国民はヒラリー・クリントンにレッドカードを突き付けた。巨大金融機関・巨大軍需産業・巨大製薬&化学会社からの青天井な企業献金で選挙戦に臨み、ビル・ヒラリー・チエルシ親子3人が主宰してきたクリントン財団への外国政府や企業からの寄付は利益相反ではないかと国務長官時代に批判された彼女が、総得票数だけでなく選挙人数でも上回って当選したとしても、背後に控える献金マシーンの意を汲んでシリア戦争に突入した可能性は高い。

浅田 ヒラリーは長く政界にすぎず1992年のビル・クリントンや2008年のバラク・オバマのように変革を体現することができなかった。最初の黒人大統領に続く最初の女性大統領を目指したはずなのに、カネまみれの既成政治家としか見られな

ったんだね。現実主義的な中道左派としてやってきたことが、民主党の候補指名プロセスで左派のバーニー・サンダースと比べて体制との妥協と見られたのも不運だった。田中 クラウドファンディング的な個人献金でウルトラ無党派層の支持を得たサンダースとの違いだね。リベラルだったはずのビル・クリントンもトニー・ブレアも、結局はレーガノミクスやサッチャリズムの新自由主義のお先棒担ぎとなってしまった苦い経験が国民には残っている。

浅田 リベラル系はもちろん、保守系のマスメディアさえ、無知で恥知らずのトランプは公職に就く資格を欠いてるって点で一致してた。そういう知的エリート全体に対する反乱がトランプを大統領に押し上げたわけだ。最初に面白がってトランプの話題を取り上げたあげく、怖くなって警告したものの、もう手遅れだった、と。その意味でこれはマスメディアの敗北でもある。

確かに、3度のTV討論でのトランプの敗北は明白、そこへスキヤンダルが続々と出てきて、ヒラリーの勝利は確実と思えた。ほとんどの世論調査もそう予測した。オバマ夫妻やビル、それにブルース・スプリングステインからビヨンセまで総動員した終盤の選挙運動もブリリアントだった。その輝かしく多彩なイメージを、低学歴白人男性の暗い無言の怒りを代表するトランプが打ち砕いてしまったわけだ。

実は、白人工場労働者は伝統的に民主党支持だったんだけど、情報や金融を中心とするグローバル資本主義に傾斜した民主党エリートは彼らを十分にケアできなかった。他方、共和党は金持ちと大企業のための減税を進め、自由貿易の維持拡大に専念する「小さな政府」を目指しながら、人種主

義・排外主義を煽って低学歴白人男性の支持をとりつけてきた。その二枚舌の究極の権化が、富豪でありながら下品なポピュリズムに徹したトランプなんで、彼は共和党が自ら生み出した怪物なんだ。

一般化して言えば、グローバル資本主義の勝者と敗者、高学歴者と低学歴者、白人と非白人の溝がここまで広がり、エリートに対する非エリートのルサンチマン(恨み)がここまで高まっていることを、マスメディアも世論調査機関も読み損なっていたんだね。

田中 興味深いのは元・ニューメキシコ州知事のゲーリー・ジョンソンを擁立したリパタリアン党が400万票と過去最多の得票数だった点だ。その彼の副大統領候補だった元・マサチューセッツ州知事のウィリアム・ウェルドも共に元・共和党員。一時は民主党員でクリントン夫妻にも献金していたトランプは小さな政府論者じゃないぞ、と反発したティーパーティー支持者が流れたのかな。といってメディアが持ち上げ続けたクリントンも、不透明なクリントン財団だけでなく健康不安説もかなりマイナスに作用した。

浅田 国務長官時代に私用メールで機密情報やりとりしていたのも、法律違反ではないにせよ、大問題ではあって、公職にない友人に情報を漏らした林権恵韓国大統領領のようなことになりかねない。秘書官たちが強く警告してたに違いないし、マスメディアの注目を浴び続けてたにもかかわらず、不用意に過ぎるよ。

また、その時点ですでに、彼女は夫のビルよりトニー・ブレア元・英首相に近いと思えるくらいネオコン寄りになってた。イラクで戦死したパキスタン系ムスリムのファミン・カーン大尉の両親を貶したことで

トランプがガタツと支持を落としたんだけど、じゃあ、移民の息子まで犠牲にするような戦争が正しいのか。

他方、トランプは債務不履行や破産を繰り返してきたのがわしいバブル企業家だけに、要はオポチュニスティックなビジネスマン。カネにならないギャンブルはしない。外交を含むトランプの政策は支離滅裂だけど、どっちがハト派かって言えばトランプでしょう。とにかく、いったん当選したからには、トランプは選挙中に言っていたことなんか平気で反故にして、けっこう妥協的にやっていくんじゃないかな。

田中 サンダースを支持していたウルトラ無党派層も少なからずトランプに入れた可能性はある。実はトランプの「脱・世界の保安官」はオバマの主張と同じだし、「脱・

しかし、ヒラリーの敗北を見ても、オバマは政治的奇跡だったんだと思うね。(浅田)



田中康夫

たなか・やすお●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。大学在学中に「なんとなく、クリスタル」で文芸賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。最新刊は「33年後のなんとなく、クリスタル」。www.nippon-dream.com

金融資本主義」もサンダースの信念と同じ。「政官業字報」の利権分配&現状追認ペンタゴンというスーパードルフィン権益1パーセント層に挑戦する彼の姿勢は、2011年秋の「オキュパイ・ウォールストリート」に集った面々と、意外にも通奏低音を奏でているんだよ。

浅田 実際、アメリカはもはや「世界の警察官」ではありえないんで、弱腰を非難されたオバマも、実はその現実を踏まえて賢明に行動したとも言える。トランプも別の意味で現実主義的にやるんじゃない？

しかし、ヒラリーの敗北を見ても、オバマは政治的奇跡だったんだと思うね。このポピュリズム全盛の時代に、あれほどスマートでクールな人物が大統領になれたとは！これからアメリカ人は彼を懐かしむことになると思うよ。確かに、変革の期待を膨らませすぎて幻滅を呼んだのは大問題だけど、初の黒人大統領がリベラルなことばかりやって失敗したって言われるのはまづいんで、ある程度は現実的にやるほかなかった面もある。ジョージ・ブッシュ大統領から戦争という負の遺産を引き継ぎ、アメリカ軍の撤退を進めたのはいいけれど、国際法に違反するドローン攻撃やサイバー攻撃はオバマの下で激増したし、敵性戦闘員と判断したテロ容疑者を裁判もなく閉じ込めるグアンタナモ収容所も最後まで閉められなかった。リーマン・ショックっていう負の遺産を引き継いで、経済を何とか好転させる一方、税制改革によって格差拡大の速度を多少は抑制し、国民皆保険への道をつけたけれど、格差拡大は続いたし、まだまだ問題は多い。しかし、民主党が議会で多数をもったのは最初の2年だけ、それ以後は過激化した共和党の徹底抗戦に悩

みつつこれだけやったんだから、大したものだよ。

田中 オバマがヘビースモーカーだから僕の採点が厳しいのかもしれないけど(苦笑)、結局は「チェンジ」できなかった点は冷徹に捉えないと。2008年9月にリーマン・ブラザーズが倒産し、「チェンジ」を掲げて09年1月に就任したオバマは同年10月にノーベル平和賞を受賞。翌10年3月には医療保険制度改革「オバマケア」が成立。ここまでは順風満帆だったものの、10月の中間選挙で共和党が下院の多数派を占めて、泥潭にはまってしまった。

13年末に教皇フランシスコが自ら筆を執った使徒的勧告「福音の喜び」エヴァンジェリイ・ガウディウム」に呼応して、「所得をめぐる不平等の拡大傾向と社会的流動性の減退傾向が、アメリカン・ドリームの実現や、世界の中で米国が象徴する理想を危うくする脅威となっている」と演説。「思慮深く情熱的な平和と正義の使者」とヴァチカン市国で会談もした。でもね、その理想を具現化することができず、後半の4年は広島訪問をはじめとしてレジエンドという名の想い出づくりに精を出す展開となった。浅田 それでもオバマは、キューバやイランとの関係を正常化、イランの核開発に一応の歯止めをかけたといった業績も残した。また、中国を軍事的に牽制するだけじゃなくて、TPPで経済的に牽制しようとした。知的所有権を過度に拡大するとか、企業が進出先の国を訴えやすくするとか、やりすぎの面もあるとはいえ、確かにスマートなやり方ではあった。しかし、トランプはTPP反対だから発効は絶望的。日本が気候変動抑制に関するパリ協定の国会承認で出遅れる一方、今頃TPP協定の承認を急ぐ



なんて、タイミンが悪いにもほどがある。

それにしても、アメリカは各州が独自の
方法で大統領選挙人を選ぶなんていう伝統
は捨てて、選挙を全国的に統一すべきだよ。
総得票数では2000年にゴアがブッシュ
に勝ったように今回もヒラリーが勝って

る。しかも、州によっては、本人確認に写
真つきの身分証明書が必要で、運転免許証
のない低所得の有色人種が投票できないと
か、そういう人たちの近所に投票所が少な
いと、明らかに共和党に有利なように仕
組まれてる。トランプが選挙はインチキだ
って言ってたけど、逆だよ。事前登録の必
要がなく、有権者に自動的に葉書が届く日
本のような制度になってたら、有色人種が

増え、女性の社会参加も進んでる現代社会
では、民主党常勝になるはず。言い換えれ
ば、共和党は無理に無理を重ねてきたんで、
その行きつく先がトランプだった。勝った
はいけど共和党の傷は深い。

田中 その点は同感で、自動車産業の救済
にも景気刺激策にも反対するティーパーテ
イ系議員の暴走を、善くも悪くも懐の深い
本来の共和党主流派だった人たちがコント
ロールできず、トランプのような鬼っ子を
生んだ。で、その彼は選挙後、オバマケア
のよい点は残すと言いつつ出した。元々は国民
皆保険の確立を唱えていた人物だからね。
閣僚やホワイトハウスの人事や親族の介入
を含めて1月の就任まで目が離せないけど、
右だの左だの党派性だのといったイデオロ
ギーを超えたパラダイムシフトが起きてい
るのは確かだ。

ミランダオ島のダバオ市長を7期務めた
フィリピンのロドリゴ・ドゥテルテ大統領
が来日した。彼は母方が中国系。そのフィ
リピンは16世紀以降、スペインの領土とし



サンダースを支持していた
ワルトラ無党派層も

トランプに入れた
可能性がある。(田中)

て抑圧され続け、19世紀末にホセ・リサ
ーラが独立運動をするものの、今度はアメ
リカとの米比戦争で60万人もフィリピン側
が虐殺され、植民地となる。第二次世界大
戦で今度は大日本帝国陸軍が占領し、米軍
が再度上陸して反攻する中で110万人の
フィリピン市民が犠牲となった。日本の敗
戦後、連合国軍最高司令官として厚木海軍
飛行場に降り立つダグラス・マッカーサー
は当時、アメリカ軍とフィリピン軍を合体
したアメリカ極東軍の司令官で、公私混
同な悪行の限りを尽くしていた。
その後もフィリピンでは、アメリカの傀儡
とも言えるフェルディナンド・マルコス
の独裁政権が続く。ピープルパワー革命で
1986年にマラカニアン宮殿が取り囲ま
れた後も財閥政治が続いた。

歴史の中で翻弄され続け、未だに出稼ぎ
国家と見下されているフィリピンの新大統領
領ドゥテルテの来日に、日本で暮らすフィ
リピン出身者が驚喜したのは理解できるし、
単なる反米政治家だと彼を捉えるのは筋違
いだと思うよ。

浅田 うん、麻薬犯罪容疑者を裁判にもか
けず射殺する荒唐治はとも認められない
けど、アメリカべつたりで中国と敵対する
わけにはいかない、乱暴ながらその中間で
バランスを取ろうとしてるんじゃない？

**本場の「土人」は、
機動隊員や擁護した政治家たち。**

浅田 そう言えば、沖縄の米軍北部訓練場
のヘリパッド移設工事への反対運動を警備
しに行つた大阪府警の機動隊員がデモ隊に
向けて「土人」と言った。その機動隊員に
大阪府知事の松井一郎が「表現が不適切」
としつつも職務の遂行に「出張苦勞様」
とツイートする始末(苦笑)。

田中 昔義偉が官房長官として即座に「発
言は許すまじき行為」と断じたのに、沖縄
及び北方対策担当大臣の鶴保庸介は「(そ
の発言が)間違いだという立場に(自分は)
ない」と会見で述べて失笑を買った。その
後も国会答弁で「差別であるとは断定でき
ない」と言い張る始末。親の心子知らずだ。
自分が当事者なのに辺野古問題も「早く片
付けてしまえばいい」と傍観者の発言。ノ
ーベル賞受賞の大隅良典さんが基礎研究の
大切さを、研究開発費など長い視点で科学
を支える重要性を訴えても、「社会に役立つ
か役立たないかわからないものを、どん
どん好きにやってくれたい」と言えるほど国
の財政状況はおおらかではない」とKY振
りを発揮し続けている。

浅田 僕は昭和天皇が病気になるまで全国に
自粛ブームが広がったとき「土人」の国」
って言って批判されたんだけど、そもそも
2・26事件の理論的支えだった北一輝さえ、
天皇は「土人部落」の土偶じゃない、天皇
機関説の説く憲法上の存在だって言ってる、
その引用なわけ。その意味では、米軍基地
に堂々と抗議する市民を「土人」と呼んだ
機動隊員やそれを擁護する政治家たちこそ
本場の土人でしょう。

田中 ヒラリーだと思ひ込んでいたのにト
ランプが当選するや定見もなく彼にすり寄
る日本の「有識者」も、その意味ではみじ
めな21世紀の「土人」と他国からは見られ
ていたりして。

88年9月に昭和天皇が大量吐血してから
崩御するまでの3か月半、歌舞音曲は自粛
せよと奇妙な「空気が日本を覆った」。天
皇が健康を損ない、深刻な状態に立ち入っ
た場合、これまでも見られたように、社
会が停滞し、国民の暮らしにも様々な影響
が及ぶことが懸念されます。天皇の終焉に
当たっては、重い殯の行事が連日ほぼ2か
月にわたって続き、その後喪儀に関連する
行事が、1年間続きます。……こうした事
態を避けることはできないものだろうか
の思いが、胸に去来することもあります」
と今上天皇が先日のヴィデオで生前退位と
いう譲位を望んだ深意でもある。

浅田 天皇は皇居の奥にいらっしゃるだけいいつ
ていう退位反対論者は、天皇を「土人部落」
の土偶のままにしたいんだよ。

田中 まったくね。天皇の憂慮と深意を理
解している保阪正康や半藤一利と違って、
天皇の基本的な人権すら認めぬ似非「尊皇派」
こそ国賊だ、と我々が一刀両断せねばなら
ぬとは、いやはや。

浅田 彰

あさだ・あきら●1957年兵庫県生まれ。
京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。
83年に出版されたデビュー作『構造と力ー記号論を超えて』はベストセラーに。

